



九重町 議会だより



もくじ

- 補正予算・主な事業 P2
- 議案リスト・人事案件
大分県後期高齢者医療広域連合議会報告 P3
- 議会のあり方検討特別委員会報告 ... P4~P5
- 議員活動報告内容 P4~P5
8/28~29 「議会広報研修会」
9/6~7 「大分県民スポーツ大会 議員ソフトボール」
- 決算審査特別委員会審査報告 P6~P7
- 総務建設産業常任委員会報告 P8
- 一般質問(6名) P9~P14
- きらり★このえ人
(飯田 時松 令子さん) ... P15
- バトンをつなぐ(東飯田)
編集後記 P16



9月
定例会

一般会計・特別会計 公営企業会計補正予算

原案
可決

本定例会は9月2日から9月19日までの18日間開催されました。専決処分を含む報告4件、議案20件を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

令和7年度
一般会計補正
予算(第6号)

補正前の額	88億6,994万7千円
補正額	△ 2,415万3千円
補正後の額	88億4,579万4千円

◆ 補正予算の主な内容

歳入	増額	○おおいた和牛生産向上対策事業補助金(県支出金)	225万1千円
		○大分県産生産振興対策事業補助金(県支出金)	166万6千円
		○後期高齢者医療広域連合返還金(療養給付費分)	1,056万5千円
		○繰越金	2億5,461万5千円
	減額	○財政調整基金繰入金	△ 2億円
		○減債基金繰入金	△ 9,000万円
		○新型コロナウイルス接種助成金	△ 830万円

歳出	増額	○庁舎工事請負費	1,000万円
		○おおいた和牛生産向上対策事業補助金	450万2千円
		○大分県畜産生産振興対策事業補助金	250万円
	減額	○介護保険特別会計繰出金	△ 939万9千円
		○予防接種業務委託	△ 513万5千円
		○備品購入費(給食センター)	△ 1,060万4千円

	補正前の額	補正額	補正後の額	
特別会計	○国民健康保険	14億2,536万円	5,168万2千円	14億7,704万2千円
	○飯田高原診療所	6,871万1千円	79万1千円	6,950万2千円
	○介護保険	15億4,418万4千円	6,212万2千円	16億630万6千円
	○後期高齢者医療	2億746万7千円	183万7千円	2億930万4千円

公営企業会計(簡易水道事業)

収益的収入及び支出	既決予算額	補正予定額	計
水道事業費用	1億9,246万2千円	123万9千円	1億9,370万1千円

第3回九重町議会定例会「令和7年9月2日～9月19日」

議案番号	件名	付託	結果
報告第4号	専決処分等の報告同承認を求めることについて		承認
報告第5号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について		
報告第6号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について		
報告第7号	令和6年度このえまち総合サービス株式会社決算の報告について		
議案第75号	工事請負契約の締結について		可決
議案第76号	九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	総務建設産業 常任委員会	可決
議案第77号	職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について		可決
議案第78号	九重町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について		可決
議案第79号	九重町簡易水道事業給水条例の一部改正について		可決
議案第80号	令和7年度九重町一般会計補正予算（第6号）		可決
議案第81号	令和7年度九重町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第82号	令和7年度九重町飯田高原診療所特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第83号	令和7年度九重町介護保険特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第84号	令和7年度九重町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第85号	令和7年度九重町簡易水道事業会計補正予算（第3号）		可決
議案第86号	令和6年度九重町一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別 委員会	認定
議案第87号	令和6年度九重町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定
議案第88号	令和6年度飯田高原診療所特別会計歳入歳出決算認定について		認定
議案第89号	令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定
議案第90号	令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定
議案第91号	令和6年度九重町簡易水道事業会計決算認定について		認定
追加議案			
議案第92号	監査委員の選任について		同意
議案第93号	工事請負変更契約の締結について		可決
議案第94号	財産取得について		可決

第4回九重町議会臨時会「令和7年8月8日」

議案番号	件名	付託	結果
議案第73号	財産取得について		可決
議案第74号	令和7年度九重町一般会計補正予算（第4号）		可決

活動報告

大分県後期高齢者医療広域連合議会（第2回定例会）が大分県医師会館で開かれました。

7月24日

- ・全員協議会 14時～
- ・研修会 15時～

大分県後期高齢者医療広域連合の概要
賦課・資格管理事業
給付事業
保健事業

8月5日

第2回定例会

議案3件

- ・令和7年度 一般会計補正予算
- ・令和7年度 特別会計補正予算
- ・令和6年度決算認定

補正

1億9千万円
61億1千万円

補正後

13億4千万円
2,362億1千万円

一般会計
特別会計

収入

12億5千万円
2,186億5千万円

支出

10億6千万円
2,120億4千万円

歳入歳出差引残額

1億9千万円
66億1千万円

（一千万円以下切り捨て）

反対討論2、一般質問2、賛成多数で可決



監査委員

麻生

武史さん

（南山田・川東下）

人事案件

1件

特別委員会 中間報告

☆意見交換会での出席者の声

※主旨に沿ってまとめています



議員定数について

- ① 議員定数を削減すると町民の声が町政に届きにくくなる
- ② 人口減少・少子高齢化の現状に鑑みて議員定数は削減すべき
- ③ 議員の仕事が見えない状況で定数の増減の判断が難しい
- ④ 議員自らで仕事量と定数が妥当かどうか判断してほしい
- ⑤ 定数を削減してその分報酬を上げる



南区



農業委員会

議員報酬について

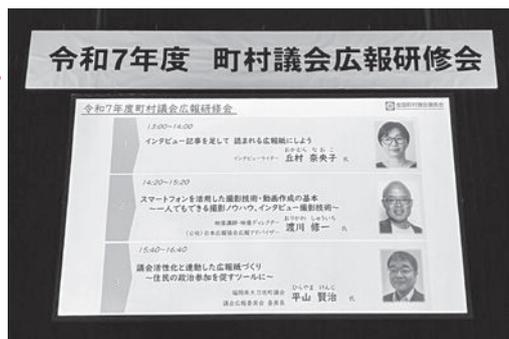
- ① 子育て世代や壮年者が議会に参画するには報酬が少なすぎる
- ② 町内の就労単価を考えれば妥当である
- ③ 世代間（年齢）による報酬の傾斜配分や子育て手当の新設等を工夫する
- ④ 物価高が継続する時流に合わせて議員報酬も上げてはどうか

皆様から頂いたご意見を参考に12月議会の議決を目標に議論を重ねてまいります

8/28~29

議会広報研修会

「議会広報研修会」が東京都のLINE CUBE SHIBUYAで開催され、議会広報特別委員会委員が出席。議会へより興味を持ってもらえるような記事づくり、QRコードを活用した動画配信のしかたなど、今後の紙面づくりに大変参考になりました。



九重町議会のあり方検討

「ご協力ありがとうございました!!」

1 議会との意見交換会を以下の団体とさせていただきました。

団体名	日時	場所	参加人数
社会教育委員	4月8日(火) 19:00	役場302会議室	10
東飯田ボッチャ愛好会	5月7日(水) 11:00	東飯田交流センター	8
粟野本村行政区	6月25日(水) 19:00	粟野本村公民館	15
パワーアップ教室	7月1日(火) 10:00	隣保館	7
農業委員会	7月4日(金) 14:00	役場301会議室	23
ハッスルシルバーズ	7月10日(木) 10:30	隣保館	11
南区行政区	8月25日(月) 19:30	南区公民館	18
潜石行政区	8月26日(火) 18:30	潜石公民館	12
富迫下行政区	8月26日(火) 19:00	富迫公民館	10
飯田地区行政区長会	8月27日(水) 19:30	飯田地域ふれあい交流センター	26

※140名の方から貴重な意見を伺いアンケートにも応えていただきました



パワーアップ教室



社会教育委員

9/6~7

大分県民スポーツ大会 議員ソフトボール

玖珠町・九重町の議員合同チームとして参加。
1回戦、別府市に勝利、2回戦、豊後大野市に勝利し、準決勝に進出。強豪の佐伯市には敗れましたが、全員の頑張りで3位の栄誉に輝きました。



家計簿をチェック



審査特別委員会報告

特別委員会を設置

令和7年第3回九重町議会定例会において、決算審査特別委員会を設置し、「一般会計」「特別会計」及び「簡易水道事業会計」の令和6年度決算分について、9月3日、11日、12日の3日間にわたり審査を行いました。



各課ヒアリングの様子

今回の審査を実施するにあたって、予算の執行状況に対して、経済性・効率性・有効性の3点に着眼して行いました。

☆住民の福祉の増進のために、最小の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているか。

☆当該予算が議決された趣旨と目的にそって適正かつ効率的に執行されたか。

☆また今後どのような改善がなされるべきか。

以上の観点から、書類審査及び担当課に対するヒアリング、現地確認を実施し、慎重に審査を行いました。

決算審査特別委員会

委員長	増田 裕子
副委員長	野上香代子
委員	菅原 美好
	佐々木信介
	矢野 春美
	河野 克輝

「決算審査特別委員会」とは？

議会の重要な権限である「決算認定」を行うために設置される特別な委員会です。

決算審査では、予算の執行が適正かつ効率的に行われたかどうかを判断し、次年度以降の予算編成や、将来の行財政の指針として反映されることになります。

- 決算書等の関係諸表の確認
- 予算の執行が効率的かを確認
- 予算執行の効果を判定
- 過去の税制状況と比較し、問題点を指摘
- 問題点を次年度以降に反映させる

令和2年豪雨で被災して5年
ようやく完成した小松地獄
総工事費1億5千万円
(百万以下切り捨て)



令和6年度 町の

決算認定における決算

ですが...

〈歳入について〉

町有施設の使用料や寄付金の減少が見られました。それらの理由についてはある程度理解できるものの、貴重な自主財源であることから、積極的なアウトリーチの必要性を指摘しました。

〈歳出について〉

全体的にICT・システム関係の委託料や使用料等が年々増加していることが懸念されます。不用額については、多くが節約工夫によるもので行政サービスに支障をきたすものではありませんでした。

町の家計簿は、
OK!



総合意見

進行する人口減少と急速な少子化を見据えて、多くの事業を見直す時期に来ています。令和6年度までで廃止された事業もいくつかありました。令和8年度の予算編成においては、町民の必要性に応じて事業の廃止や統合、内容の変化や新規の企画等、各課において再点検と的確な予算編成を望みます。

令和6年度は毛布を購入し、
各防災倉庫に配置
87万3千円
(百円以下切り捨て)

現地確認

防災倉庫確認 (飯田)



「委員会に付託を受けた下記4議案は全て可決となりました」

議案第76号「九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について」は

これまでの計画に野上地区体育館解体工事を追加するもの。野上中学校跡地有効利用の早期推進を図る上での計画の一部変更で、適当であるとの結論に達しました。

議案第77号「職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」は

育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にする事を目的とした「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴うもので適当であるとの結論に達しました。

主な改正点

- ★これまでは「小学校就学前の子を育てる職員は1日につき2時間を超えない範囲で勤務時間を短縮できる。」であったのに加え、「年間10日相当の範囲内で勤務しないこと（2時間以上1時間単位～1日単位で取得可）」を選択することも可能となった。
- ★会計年度任用職員の育児時間の対象が3歳までだったのが小学校就学前までに引き上げられた。



議案第78号「九重町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について」は

自治体情報システム標準化に伴い、住登外者の登録・管理を行う「住登外者宛名番号管理機能」が共通機能として設けられる事となり、この機能を扱う事務については条例に定める必要があることによる条例の一部改正で、適当であるとの結論に達しました。

議案第79号「九重町簡易水道事業給水条例の一部改正について」は

九重町簡易水道事業給水条例第11条に災害時の給水装置工事業施行者の緩和措置をするもので、災害その他非常の場合において、地元事業者の確保が困難となる事が予想される場合に他の市町村長等が指定する給水装置工事業業者においても工事できる規定を定めるもので、適当であるとの結論に達しました。



町政を質す 一般質問

6名の議員が質問

矢野
春美



介護現場の人材不足は深刻！ 介護事業所の減少（縮小）に対する 町の対応は!?

在宅介護サービスについて

矢野 現在、在宅介護サービスを受けている人数は。
日野地域共生支援課長 令和6年3月の時点で、在宅で生活し介護認定を受けている方が461名。

矢野 在宅介護は訪問看護やデイサービス、ショートステイなどを利用しなければ成り立たない。昨今の人材不足による影響は。

日野地域共生支援課長 県が指定する事業所の廃止や休止の報告等は受けていないので、正確な把握ではないが、短期入所生活介護、ショートステイ事業の事業所から、介護人材の確保ができないということで、本年9月以降、事業の休止を検討中ということは聞いている。

矢野 事業の休止、縮小などでサービスの低下への対応、また介護人材確保への支援策は。

日野地域共生支援課長 希望するサービスが受けられないという事態が発生した場合、なるべく早めに担当のケアマネジャーに相談することで、他のサービスや病院などを利用できるよう対応が図られる。

人材確保として町の資格取得支援については、まちの担い手応援事業から、50%から90%の助成をしている。介護福祉士、ホームヘルパーの1、2級、ケアマネジャー、主任ケアマネジャー、社会福祉士が該当する。また、玖珠郡介護保険サービス連絡会議では、昨年度から開始した介護職員初任者研修でホームヘルパー2級の資格が取得できる。令和6年度、町内で3名の方が受講されている。



加齢性難聴者へ補聴器支援について

矢野 九重町における補聴器購入費用の助成は。

日野地域共生支援課長 身体障害者手帳の交付を受けた方に対し、障害者総合支援法に基づき、補装具の購入などに要した費用の額から、利用者負担額原則1割を除いた額が補装具費として支給される。

矢野 身体障害者手帳を持たないが加齢性難聴で聞こえが不自由な場合でも社会活動に消極的になる。早めに補聴器を使用することによって認知症予防、地域活動への参加促進にもつながる。自治体独自の補聴器購入支援をしている町もあるが、九重町でも考えられないか。

日野地域共生支援課長 今のところ、町独自の助成の制度はない。補聴器の利用による認知症の予防や社会参加の機会が増加するとの効果を今後確認をしていき、国、県、他の自治体の状況も踏まえながら、適切な対応を図る。

モンゴルとの青少年交流について

矢野 高校生がモンゴルを訪問し交流したが、目的と成果、感想は。

佐藤社会教育課長 異文化体験を通して、子供たちの国際感覚を養って、将来の本町の発展に資する人材を育成することを目的としている。若者たちが世界に目を向けて、そこで得た経験を地域に還元することは非常に大事なことである。社会インフラの違いやモンゴルの歴史や文化を深く勉強でき貴重な体験になったと思う。

人口減少や少子高齢化が進む中、町内の環境や住民の生活実態を把握し暮らしに支障のない支援を行い、活力のある町づくりに取り組むべき



有吉 富生

農林業の振興について

有吉 農林業振興の基本目標である町民と共に力を入れていく方針と取り組みは。

藤野農林課長 稼げる農業、畜産業の実現に向け、地域の強みを生かした取り組みを推進する。

有吉 用水路にパイプ支給すれば小人数で施行できる、今後を見据え申請条件を一戸と変更できないか。

梅木建設課長 重要な制度と捉え、受益戸数を2件以上と緩和した。適正な方法を調査研究する。

有吉 国の方針で農業は左右されるが、いち早く対策を関係者と協議し、活用できる補助金等々の取り組みをすべきだが。

藤野農林課長

様々な補助の情報等は町の事業紹介等でしっかり農業者に届くよう周知を行なう。



イノシシ被害の状況

町水道の対策について

有吉 町水道の普及は町の課題であると思うが、普及率と加入者は。

梅木建設課長 給水人口8,192人に対して3,444人で加入率は42%である。



河内水源の状況

有吉 現在の町水道の施設も長きにわたり使用しているが改修計画の必要は。

梅木建設課長 開始から70年近く経過している。施設台帳の整備や管路の更新計画の策定をしていく。

有吉 町水道以外の町民の飲料水の確保について町の対応は。

梅木建設課長 地区水道には町の施設整備補助金、県の施設整備補助金で飲料水の確保に努めている。

空き家対策について

有吉 空き家の近隣は支障が出て困っても、連絡が取れない現状であるが、地域の苦情等を協議する行政機関の窓口を設置すべきでないか。



危険空き家の状況

志賀危機管理・防災安全課長 条例で町と住民の責務が定められている。所有者は空き家にするときに区長や民生委員その他関係する方々と情報を共有して連絡をとることが必要である。

有吉 空き家バンク登録をして町の事業を活用させる為の、事業の周知はどのようにしているのか。

吉光観光・地域振興課長 空き家バンク制度の周知等は町のホームページや事業紹介で広報掲載している。

九重連山の防災について

有吉 硫黄山の現状に変化があるが、異変はないか、噴火や土石流の心配はないか。

志賀危機管理・防災安全課長 各関係機関で調査を行なっているが、現在のところ変化はない。

町政を質す 一般質問

増田 裕子



- ① 防災情報、わかりやすく、きめ細かな情報提供を望む!
- ② 町道の草切や除雪などの作業に対して、補助金制度や対策を!

住民に寄り添い、きめ細やかな防災情報提供を!

増田 8月大雨の際、線状降水帯発生予測から翌朝の避難所開設まで長い空白で不安が募った町民も多かったと聞く。もう少しきめ細やかに情報提供してほしい。町民だけでなく様々な人が町内を訪れているが、防災情報をどのように知らせ、案内できているか。

志賀危機管理・防災安全課長 防災ハザードマップが完成したことに合わせ、ホームページの防災情報についても見直しを行い、見やすく変更していきたい。

松尾未来デザイン推進課長 防災無線の聞き逃しについては、ラインで補完できるようにシステムを今準備しているところである。



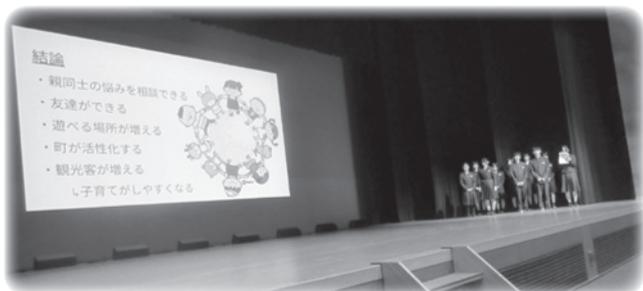
町のHP

住民が行う町道の草切りや除雪に補助を設けては

増田 人口減少が進む中で、「これまで通り」では進まなくなる。今後新たな補助金制度を設けるなど対策が必要と考える。玖珠町をはじめ、他の町でもすでに実施しているが、計画はあるか。

梅木建設課長 担い手不足、人手不足という現状認識である。補助金制度を設ける計画は現在ない。

日野町長 数年前から大きな問題だと認識している。人手不足は助成だけでは成り立たない。提言も受け止め、一定の方向を早い段階で出していかなければならないと考えている。



町づくりプランを発表する中学生

中学生のまちづくりプランに対する検討内容

増田 小学校から系統的な学習計画に基づいて行ったこのえ学の集大成として、行政職員も参画し中学生が提言した町づくりプラン。提案を受けて、内容を精査して、より現実的、具体的な方策を出していくのが行政の仕事であろう。その積み重ねが町民の福祉向上、幸福度を上げると考える。

6月議会では、社会教育課から夢高校での取り組み（医療・福祉の分野で認知症カルタ、Eスポーツ大会の開催、デジタルの分野でドローン体験）を聞いた。残る5点について、町がどう受け止め何を取り組むのか、各課の検討状況と計画をお聞きする。

① 農業（担い手確保、農業グランプリ）

藤野農林課長 担い手確保に向けた「つながり」のためのイベントは考えていない。農業者表彰については、功績が顕著な方は「大分県農業賞」へ推薦していく。

② 観光（スタンプラリー）

吉光観光・地域推進課長 九重飯田高原観光協会が昨日主催したやまなみ感謝祭に合わせて、4月20日から11月30日の間、湯めぐりスタンプラリーというを行っている。

③ 町づくり（大きな公園・安心して子育てできる町づくり）

穴井健康・子育て支援課長 新たに大きな公園を造るのではなく、今ある公園を見直し・リニューアル等で有効活用する方針で検討している。

④ 安心・安全（消防団活動の見直し）

志賀危機管理・防災安全課長 今年度、消防団員にアンケートを取った。今後も改善を深めるために消防団との連携を図っていきたい。

⑤ 財政（入山料の徴収、企業誘致）

小田住民環境課長 入山料については、数年前広域で協議・検討したが、課題等ある中で最終的な結論には至っていない。企業誘致やエネルギー事業に関しては、調整役や支援的な立場を担っていく。

命を守る為に警報発令中は コミュニティバス運行に 運休規定を 設けるべきではないか



野上 香代子

コミバスの災害対応について

野上 これまでコミバスの運行を制限、変更または休止する事があったか。

松尾未来デザイン推進課長 天候の影響による事例がある。台風による全線運休、積雪に伴う路面状況の悪化による折り返し運行及び迂回運行、倒木による迂回運行、道路の工事やイベント等による通行止めに伴う迂回運行があった。

野上 運休判断決定の経過は。

松尾未来デザイン推進課長 天候の状況、気象状況を確認しながら運行事業者とのやり取りを行い、運行可能であれば運行し、危険であれば双方協議し町長に伺いをたて運休となる。

野上 一回一回の協議ではなく、警報や避難指示が出れば運休等と規定を設けるべきではないか。

松尾未来デザイン推進課長 利用者及びドライバーの安全確保する観点から、運行休止を変更する必要がある場合はあるが、一方で利用者の輸送は可能な限り、継続していきたい考えもある。警報の発令等は運休に係る判断材料となるが、警報が出ていても実際には降雨等がない場合や規定を設けても基準以下であれば必ず運行できるとも限らないので、一律の規定を定めることは非常に難しく、運用面では運行事業者と協議をしつつ柔軟性を持って運行に関わる全ての人の安全が確保されるように努める。

日野町長 制限を設けないことによってできることもある。しかし、制限を持たないとできない課題があれば検証した上で判断をしていく。

福祉人材について

野上 福祉事業において人材不足の現状をどう捉えているか。

日野地域共生支援課長 ホームヘルパー、介護福祉士、リハビリテーションの専門職が不足している現状である。

野上 処遇改善加算の把握は。

日野地域共生支援課長 都道府県への申請。

介護報酬の加算は事業所が単体で申請している。

野上 まちの担い手応援事業で福祉関連の助成が減少傾向にある。どう捉えているか。

佐藤社会教育課長 介護職においては町だけの問題ではなく国や県に上申して、処遇改善を図っていくべきと考えている。



環境について

野上 不法投棄の現状は。

小田住民環境課長 令和5年度が7件、令和6年度が4件、令和7年度8月末現在で5件である。

令和5年度は廃タイヤや電化製品等の粗大ゴミが多かったが最近では生活ゴミ等が多い傾向である。

野上 ゴミ拾い時の支援は。

小田住民環境課長 申し出をいただければゴミ袋の提供を行っている。

野上 町内に産業廃棄物処理施設が出来るののではないかと情報を耳にした。町に情報があるか。あれば町の考えを伺う。

小田住民環境課長 産業廃棄物処理施設の計画については、令和4年に当該事業者より説明があり、把握をしている。現在は、土砂の埋め立てという部分での開発工事の届出が出ている状況。産業廃棄物処理施設の許認可等を受けているものではない。この設置等については県の許可制ということになっているので、今後も町としては情報収集等も行いながら適宜対応していく。



土砂埋立許可地(松木)

町政を質す 一般質問

岩尾
茂樹



年収の壁見直しについて…影響、対策等伺う
(更なる見直しも考えられ税収減もありうるので、
自主財源を増やすこと等検討しておくべきではないか)

年収の壁見直しについて

岩尾 現在の見直しの状況は。

佐藤税務課長 所得税については非課税限度額が103万円から160万円、住民税は均等割額が93万円から103万円、所得割額が100万円から110万円となっている。

岩尾 影響額（減収額）等試算しているか。

佐藤税務課長 変動要因が多いので試算額は出していないが、総務省は減収割合が0.53%前後と試算している。

岩尾 更なる見直し（税収減）も考えられるので、自主財源を増やす方法等検討しておくべきでは。

竹尾総務課長 歳出についても見直しが必要かと、また、歳入では使用料等の見直しも進めていかなければと考えている。

吉光観光・地域振興課長 大吊橋の利用料については今後も検討していきたい。宿泊税や入湯税についても調査、研究を行っていきたい。

岩尾 町有財産の利活用は。

竹尾総務課長 有効活用できなければ売却も進めていきたい。

集落支援員について

岩尾 県内他市町村の採用状況は。

吉光観光・地域振興課長 専任で93名、兼任で34名いる。（別表参照）

岩尾 地域おこし協力隊との違いは。

吉光観光・地域振興課長 集落支援員は地域の実情に詳しい内部人材で集落の点検、状況把握が基礎的な活動であり、地域課題の解決等に従事する。

岩尾 国の交付税措置により町の費用負担が不要な集落支援員を採用してはどうか。

吉光観光・地域振興課長 まちづくり協議会等が同様の役割を担っており、地域の実情に合わせて活動しているので今の支援が望ましいと考えている。

岩尾 費用負担のメリットはどう考えるか。

時松副町長 合併せず単独のまちづくりを決めた時に協議会による地域づくりを目指してやってきた経緯があ

るので、地区協議会と議論しながら採用も視野に入れて人員増を図っていきたい。

令和6年度 大分県の集落支援員と地域おこし協力隊の状況

	集落支援員 (専任)	地域おこし 協力隊		集落支援員 (専任)	地域おこし 協力隊
大分市	2名	3名	竹田市	—	9名
日田市	16名	2名	杵築市	—	4名
佐伯市	16名	9名	国東市	—	7名
臼杵市	15名	5名	日出町	—	1名
津久見市	1名	3名	九重町	—	2名
豊後高田市	3名	18名	合計	93名	101名
宇佐市	21名	11名			
豊後大野市	12名	4名			
由布市	3名	6名			
玖珠町	4名	6名			
中津市	—	11名			

	集落支援員 (兼任)
宇佐市	19名
姫島村	15名
	34名

出典:総務省HPより

大規模地震時の孤立集落について

岩尾 新聞に孤立するおそれのある集落が、町に23あると出ていたがどのようにして決まったのか。また、対象集落には周知しているか。

志賀危機管理・防災安全課長 県から調査票が来たので回答した。まだ周知はしていない。

岩尾 食糧・医薬品等の備蓄等事前の打合せが必要ではないか。

志賀危機管理・防災安全課長 令和8年、9年度に県の関連事業があり、これを活用して支援を検討したい。今後、各行政区に要望調査を行い結果を基に事業を進める。

有事が発生した場合の避難者受け入れについて

岩尾 新聞に町で石垣市民を402人受け入れると出ていたが、どのようにして決まったのか。

志賀危機管理・防災安全課長 県独自の計画であり決定ではなく、町との打ち合わせもされていない。

岩尾 報道により不安に思う関連業者に対する配慮は。

日野町長 避難の要請があったときは関係業者等と打ち合わせをしっかりとやっていこうと思っている。

「主権者教育の目的は何か」 社会参加の意欲醸成・ 町づくりの担い手の育成を!!



岐部 俊哉

令和の時代を生きる! 第22弾「人づくり」は「町づくり」

主権者教育について

岐部 区長や各種委員・民生委員等の成り手不足について解決策は何か考えられるか。

佐藤社会教育課長

- ① 役割の見える化と周知
- ② 活動負担の軽減
- ③ 人材の育成と裾野の拡大
- ④ 地域の多様な人材の活用

上記の①～④の課題解決策をもって取り組んでいく中で、委員の方々が達成感を得られる仕組みづくりに取り組んでいく。

広報・公聴制度の確立について

岐部 住民に向けた広報活動と、住民の思い・願いを聞き入れる広聴活動の制度について新たに取り組んでいる制度があるか。

松尾未来デザイン推進課長

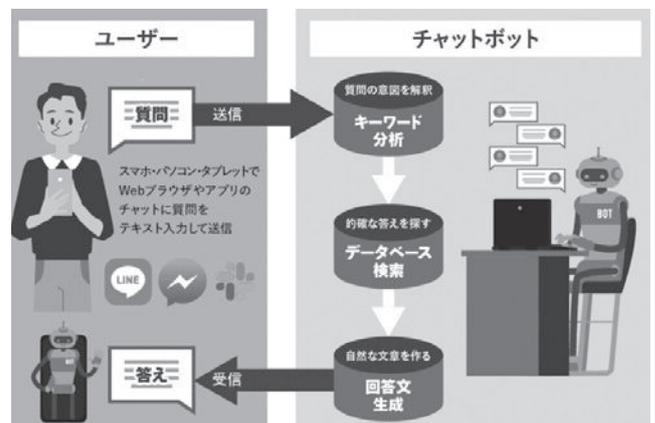
- ① 広報活動について
従来の紙媒体に加えて町のホームページの刷新やケーブルテレビに加えてラインなどのSNSを活用している
- ② 広聴活動について
ホームページでの問い合わせやご意見提言箱に加えてパブリックコメントやみらいナビがある。

岐部 新たな広聴活動の制度として具体的な方法が計画されているか。

松尾未来デザイン推進課長 九重町総合計画や自立推進計画の中で取り組みを進める計画はあるが、具体的な方法は検討中である。

岐部 チャットボットというAIを用いた公聴制度を導入した自治体がある。本町での導入に向けて検討できないか。

松尾未来デザイン推進課長 今後の参考にさせていただきたい。



町有財産について

岐部 組織改編があり各課が所管する行政財産を含む町有財産を町ホームページで情報公開できないか。

竹尾総務課長 現在のところ町有財産については固定資産台帳システムで管理しているため、情報が必要な方は総務課へ問い合わせ願いたい。

岐部 伍代跡地の活用についてはどうなっているのか。

松尾未来デザイン推進課長 本来用途を終えて普通財産となったものについては、新たな用途の模索を第一に考えてきた。伍代跡地の活用が進まない原因は、活用の検討に期限が設けられていないことが大きな要因と考えられる。

きらり★このえ人

ときまつ せいこ
時松 令子さん（飯田奥郷）



民泊おわて

民泊おわて WWOOF グリーンツーリズム

もう25年以上になるかな…
延べ何百人も受け入れています。
自分たちの暮らしがいかに素晴らしいか、特に海外の人たちから教えてもらいました。



オーガニックマーケット

最近は毎週土曜日、大分で出店しています。野菜や卵、漬物、猪肉など都会では手に入りにくいものを心がけて持っています。お月見のだんごや彼岸のおはぎなど行事食は意識して生活にも取り入れています。小さい頃からおばあちゃん子で、一緒に作っていました。



グリーンツーリズム

中学生が「命をいただく」体験で「今まで生きていた合鴨が僕たちの中で復活してエネルギーとなった。僕たちに食べられて幸せだったと思う」と感想を述べたのは思い出深い出来事です。

飯田生まれの
飯田育ち



マーケットに出したおにぎり等

WWOOF (World Wide Opportunities on Organic Farms) とは

世界に広がる有機農場での機会（有機農業のホストが食事と宿泊場所を提供し、訪れるウーファーは力や知識を提供する仕組みでお金は発生しない）

町や議会に期待すること

周りに空き家が増えて寂しい。梨や花など後継者がいないので木を切ったという話を聞くとつらい。ここに来る人は皆「いい所」「住みたい」と言うけれど、住む場所がない。本気で農業をやりたい若い人たちに、うまく橋渡しをしてほしいです。

巫女舞の指導

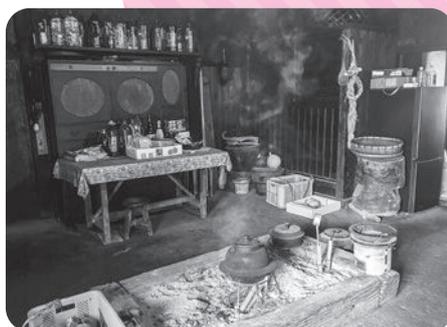
若い頃、自分たちで習いに行って覚えました。今年新しく小学生7人が仲間入りし、8人で継承しています。最近はお祭りや色んな所に呼ばれて舞う機会も増えました。



公民館での練習

これから

ここに暮らしてここから発信できること、食の大切さを子育て世代にも伝え、応援したいです。



囲炉裏



傍聴へどうぞ 次回は12月です



第26回

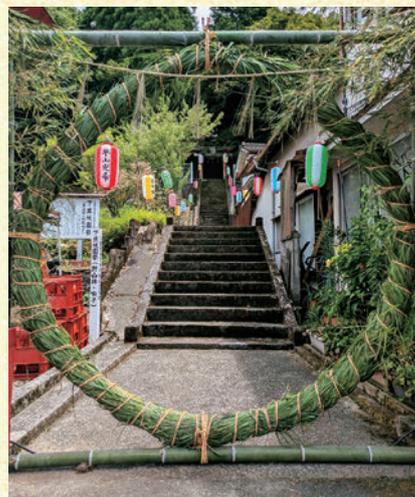
下旦祇園祭

東飯田地区下旦にある「八雲神社」の祭りは、近年7月第3土曜日となっています。

山鉦の巡行が行われますが、郡内唯一の飾り山となっています。

山鉦の準備は老人会や青壮年が行っていますが、山鉦巡行時、人手不足により子ども山鉦は「くらしのサポートセンター東」の有志、また、くらサポ東の会員でもある「このえ夢ホーム」の力自慢のみなさんも楽しく参加しています。

ここにも地域の支え愛の輪が広がっています。



**議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。**
【議会事務局：76-3814】

令和7年10月17日
発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814 ・ FAX 0973-76-3809
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

皆様、日頃より議会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今号では、議会で行われた重要な討議や決議について報告させていただきました。議員一同、地域の未来を見据え、皆様からの声を大切にしながら、より良い政策の実現に向けて取り組んでおります。

この広報誌を通じて、議会の活動に対する皆様の関心が一層深まり、また、意見や提案をいただけることを心より期待しております。地域の課題解決に向けて、引き続き力を合わせてまいりますので、どうぞご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次号も、皆様にとって有益な情報をお届けできるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

佐々木 信介

- 広報委員長 矢野 春美
- 副委員長 河野 克輝
- 委員 土井真一郎
- 委員 増田 裕子
- 委員 野上香代子
- 委員 佐々木信介